神奈川ネット鎌倉

パーソナルサポートの実現

家庭ごみの戸別収集全市実施の経費が計上されなかったことに加え、今泉焼却炉の煙突解体に向けての準備、事業系ごみ削減対策の強化については評価し、貧困の連鎖を防ぐ学習支援・養育支援・就労困難若年者支援等、個々に寄り添った支援に期待して予算案に賛成しました。しかし、Wi-Fi環境の整備やオリンピック・パラリンピック対応のホームページ構築、マイナンバーカードによるコンビニ交付等、国の交付金目当ての事業については、市民にとって必要なサービスであるのか、精査すべきです。

代表質問では、神奈川ネットが２０１５年夏に行った市政調査に基づき、市民の声に耳を傾け、一人一人の生き方や働き方に応じたパーソナルな支援が行われているかという視点で行いました。

●ごみ処理施策

声かけふれあい収集の拡充により、高齢者の日常的な見守りを含めたごみ収集体制を求めました。また、不安定なごみ処理を解決するには、最新式の焼却炉の建設を急ぐべきです。

●道路整備と渋滞緩和

道路は、劣悪な状況になる前に早期補修を行うことで経費削減につながります。また、渋滞緩和策として、横浜方面からの車の流入を食い止めるパークアンドライドの拡充を求めました。

●介護保険制度の充実

２０１７年度から始まる要支援者の総合事業に向けて、サービス内容や利用料金・報酬単価について、市の考えをただしました。また、市内高齢者施設の実態を把握し監査体制の充実を主張しました。

●子育て支援

保育園に入れなかった子ども の後追い調査の結果を踏まえた待機児童対策を求め、今後の施設建設は、待機児童の年齢分布を勘案した定員構成を主張しました。待機児童の受け皿となっている一時保育利用料の是正も求めました。

●子どもの貧困対策

貧困の連鎖を防ぐため、早期に支援につなぐことが必要です。子どもの健康・生活実態調査を実施し、生活支援から学習支援につなぐ重層的な支援の在り方を提案しました。

●空き家・空き地対策

空き家の実態調査の結果を基に、地域の拠点など福祉的視点での活用を求めました。また、管理が不十分で草が繁茂している空き地が散見され、防災・防犯上の問題から、早急に対策を講じるべきです。

●緑地保全

市政調査では、緑が失われることに対する危惧の声も多く寄せられました。むやみに自然を破壊せず、緑地を守り、守った緑は適正に維持・管理すべきことを求めました。

鎌倉みらい

後期実施計画へつなげる大事な予算

平成28年度は、前期実施計画の最終年度にあたり、３年間の重点事業の推進状況や成果が求められる区切りの年度であると同時に、各種事業や計画を、後期実施計画へつなげる大事な年度と言えます。鎌倉みらいでは特に、重点事業や新規計画を中心に、事業が着実に遂行され得るかをただし、一般会計予算ほか諸議案に賛成しました。

●地域課題解決に向けた新たな地域コミュニティーを

これまで行ってきた「大船地域づくり会議」や今泉台での「長寿社会のまちづくり」などの取組を評価するとともに、今急がれている超高齢化に伴う地域福祉の充実に向けて、自ら課題解決に取り組む地域への支援の在り方を早期に確立していくよう要望しました。

●鎌倉市版総合戦略の推進を

平成27年度末に鎌倉市版の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、雇用の創出や結婚・出産・子育てによる人の新しい流れをつくろうとしています。今、第三の拠点として整備が進められている深沢ＪＲ跡地に、少子高齢化への対応をはじめ多様な都市機能の導入を位置付けていることを評価し、保健福祉拠点としての機能の充実も併せて要望しました。

●社会基盤施設マネジメント計画の着実な推進を

平成27年度末に策定される「社会基盤施設マネジメント計画」については、将来にわたるインフラ整備における財政負担平準化の要となる計画であり、防災安全部、まちづくり景観部など庁内横断の連携スキームを確立し、後期実施計画における必要かつ十分な対応をお願いしました。

●市民が主体的に健康づくりに取り組める計画の推進を

平成28年４月に施行される「健康づくり計画」を全市的に推進するためには、地域で住民が主体的に気軽に「身体活動・運動」をはじめとした健康づくりに取り組めるような体制づくりと、人材養成の必要性を要望しました。

●災害対策の充実を

災害対策本部機能の強化策として、中期的な課題である無人監視カメラの増設に注力するよう要望しました。また、ＢＣＰの実効性を高める図上訓練や、情報伝達手段の強化策としての公衆用無線ＬＡＮの整備を評価し、各部の連携による避難路整備等、継続的な津波対策の推進を要望しました。

●先を見据えた観光施策を

２０２０年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向け、インバウンド対策を含めたハード・ソフト両面の対策を、遅れることないよう着実に実行していくことを要望しました。

日本共産党

市民の暮らしを支えることが市政の役割です

国の家計調査で、勤労者の暮らしぶりは、30年前以下の水準に落ち込んでいます。

鎌倉市の諸指標からも、このことが裏付けられ、一人当たりの給与収入は20年前より60万円も減収、小・中学生の就学援助認定数はこの10年間で、約２倍の１８００人（15・６％）に、生活保護認定者も、５年間に約１００人も増えています。

日本共産党鎌倉市議会議員団は「住民の福祉の増進」こそ、自治体の本務であり、市民の暮らしとしっかり向き合うことを求めました。そして、以下に述べる理由により、一般会計、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業特別会計予算に反対、他の諸議案には賛成しました。

●貧困と格差拡大

保育園・子どもの家、特養施設の待機児・者ゼロを！

保育園に落ちた子が１５０人、子どもの家でも50人もおり、施設の増設が必要です。未活用の元法務局の借用なども視野に、施設計画の具体化を求めました。特別養護老人ホームは制度改悪で要介護３以上でないと入所できなくなりましたが、それでも５００人が待機中です。平成29年度に山崎地域で80床の施設ができますが、さらに増床計画を要望しました。

●小児医療助成の拡充を

県内すべての自治体がこの事業に力を入れ、既に中学校３年生までは14市町村に広がりました。鎌倉市は７年前に「小学校６年生まで所得制限廃止」を約束したまま、棚上げ状態になっています。国に対し、知事会・市町村長会からも「国の事業として支援を」の要求が上がり、国も検討している中、市としての努力を強く要求しました。

●ごみ問題の迷走は市長の責任。生ごみの資源化で安定したごみ行政を！

松尾市長就任以来、先の見通しもないまま、生ごみのバイオマス化を中止。あれこれ迷走した末、有料化を強行したものの、３万トン以下にすることができませんでした。

新焼却施設の計画は、分別・資源化を徹底し、最小の施設にすべきです。そして、燃えるごみの50％強を占める生ごみを資源化処理する道に踏み出すことを要求しました。

●北鎌倉トンネル破壊の暴走やめ、両立を図れ！

「景観保全と安全」の両立目指し、調査委託した結果、両立の方策が提案されています。関係者との協議もないまま開削を決定したのは暴走そのものです。保存との両立を図るよう求めました。

全員協議会

次のとおり議会全員協議会を開催し、市長から次の報告を受けました。

◎今後のごみ処理体制について（1月27日）

戸別収集については、燃やすごみ１品目について平成28年度からモデル地区で先行実施し、29年度から30年10月までに段階的に全市域で実施する予定としていたが、27年12月定例会において、モデル地区で28年１月から３月までは従前どおりの戸別収集を実施する補正予算を提案したところ、同年３月からクリーンステーション収集に戻すとする内容に修正可決されたため、戸別収集を予定どおり実施することが困難であると判断した。このため28年度は関連予算を計上せず、28年度に予定していたモデル地区での先行実施と29年度からの段階的な全市実施の見直しを行うこととする。

平成28年度のごみ減量施策については、家庭系ごみ有料化の継続と事業系ごみの積極的な削減を図ることを考えている。

また現在策定中の第３次一般廃棄物処理基本計画では、平成30年度にごみ焼却量を３万トン以下に削減する計画としていたが、戸別収集の減量効果を見込むことが困難であるため、生ごみ資源化促進の支援策、小規模事業者の排出適正化など、戸別収集に替わる減量施策や補完策も検討する必要があり、計画の策定スケジュールも見直しせざるを得ないと考えている。

鎌倉市議会からのお知らせ

◇かまくら議会だより　音声版・点訳版のご案内

「かまくら議会だより」は、鎌倉朗読・録音奉仕会と鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、音声版（収録テープ・デイジー）と点訳版を作成しています。ご希望の方は議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。

◇請願・陳情の出し方

市民の皆さんの意見・要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として請願と陳情があります。請願は１人以上の紹介議員の署名が必要ですが、陳情は不要です。提出に当たっては、所定の様式があるため、事前に議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。

提出の締め切り…提出はいつでも可能ですが、定例会初日の前日までに提出された場合はその定例会で審査し、それ以降の提出の場合は次回定例会での審査となります。

鎌倉市議会事務局
議事調査担当
電　話：0467(23)3000　内線2448
ＦＡＸ：0467(23)5825
メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

本会議・委員会映像公開中です！

鎌倉市議会では、本会議及び各常任委員会等について生中継を行っています。（録画映像も見ることができます。）

鎌倉市議会ホームページはこちら！

http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/

または、

鎌倉市議会　検索